

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要：
月の下アートセンターは、アートを起点とした「新たな価値創造」と「文化資本の向上」を目指す活動で、富岡町内で令和6年度にスタートしました。具体的には、月に2回の拠点開放や多世代向けワークショップ、地域再生の事例学習を行い、富岡町民と国内外の来訪者が集う交流の場を運営するとともに、未就学児から高齢者までが共に学ぶ機会を創出しています。
多様な人々が交差する場を創出することで、地域の新たな活力と持続可能なコミュニティを育み「心の復興」に寄与することを目的とします。

取組の効果・特徴
アート活動や世代を横断した対話の機会は、表現の自由や自己実現を通じて、参加者が自身の価値を再確認し、生きがいを見出す重要な手段です。特に、高齢者や震災被災者にとって、心の癒しとともに日常の中で自らの存在意義を感じる場を提供することは、孤独感や無力感を軽減し、生きがいづくりに繋がります。

取組内容

【多世代を対象とした取組】
場所「時の海 - 東北」プロジェクト 富岡町オフィス
活動頻度・内容
取組①オープンデー：毎月2回（基本第2.4木曜 18:00-20:00/全22回）
・「時の海 - 東北」プロジェクトに関する展示
・子どもから大人まで誰でも参加できるワークショップスペースの開設
取組②月の下大学：年8回（全8回）
・各分野の専門家やゲストスピーカーを招いた講義やワークショップ
取組③新月のもくもく会：2ヶ月に1回（新月の日、全5回）
・参加者が落ち着いて過ごす時間の提供
・アートやコミュニティづくりなどに関連する書籍が読めるアートブックコーナーの提供
協力「時の海 - 東北」プロジェクト実行委員会/一般財団法人福島富岡文化財団、富岡町小規模多機能自治会

【特に小中学生を対象とした取組】
場所 町内各所
活動頻度・内容
取組④こども部
工作機会の提供：毎月1回（全11回）
まち歩き・壁紙新聞作成：5月下旬-6月（第一回）、7月下旬-8月（第二回）
展示会：2ヶ月に1回（新月の日、全5回）
・参加者が落ち着いて過ごす時間の提供
・アートやコミュニティづくりなどに関連する書籍が読めるアートブックコーナーの提供
協力「時の海 - 東北」プロジェクト実行委員会/一般財団法人福島富岡文化財団、富岡町小規模多機能自治会

次年度以降の展開
○ 持続可能な拠点づくりの推進
現在は、「時の海 - 東北」プロジェクト 富岡町オフィスを借りて開催していますが、月の下アートセンターとして常設拠点を開設したいと考えています。また、継続的に運営できる体制を整え町民と来訪者がともに学びや発見を得られ続け「文化資本の向上」を目指す場として地域に根づかせていくため、より多くの人に開かれた環境を作り続けていきます。